



【編集】
富山国際大学
現代社会学部

富山国際大学

東黒牧ニュース

Toyama University of International Studies

学生が「聞き書き」の手法と魅力を学ぶ

富山国際大学現代社会学部の環境デザイン専攻の授業「環境デザイン実習」では、10月20日（火）、東黒牧キャンパス 441 教室で、聞き書き作家の第一人者小田豊二氏による「聞き書きの手法と魅力を学ぶ講座」を実施しました。聞き書きとは、人生の先輩たちの貴重な過去の経験を風化させることなく、後世へと伝える「記憶の番人」としての役割を果たし、若い世代がご年配の方々に学んで自分の人生を見つめ直す機会にもなるものです。



講師の小田豊二先生



軽妙な語りの小田先生

環境デザイン専攻では、平成 25 年度から 3 年次の専攻実習で、富山市八尾のお年寄りにお話をうかがい過去の暮らしぶりを聞き書きとしてまとめたり、今年度は 2 年生対象の公害問題の歴史を学ぶ環境社会学の授業で、イタイイタイ病対策協議会の副会長を務める高木良信氏への「聞き書き」を実施してきました。

今回の講座では、多くの聞き書き作品を出版されている小田豊二氏に、聞き書きをする際に心がける基本的なポイントと聞き書きの魅力について、様々な角度から解説いただきました。



自分の書いた文章を発表する



学生の文章にコメントを書く小田先生

(文・写真：大谷孝行)